

## 会 議 録

会議名 (審議会等名)		第15回相模原市歯科保健事業推進審議会				
事務局 (担当課)		健康増進課 電話 042-769-8322(直通)				
開催日時		令和5年8月7日(月)午後1時~2時30分				
開催場所		WEB及び対面会議 けやき会館2階 大研修室				
出席者	委員	13人(別紙のとおり)				
	その他	0人				
	事務局	8人(保健衛生部長、地域保健課長、健康増進課長、他5人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		委嘱式 1 あいさつ 2 議 題 (1) 次期相模原市保健医療計画に盛り込む歯科保健分野の施策について  3 その他				

## 審 議 経 過

保健衛生部長あいさつの後、議題について審議した。

主な内容は次のとおり。

- ( 1 ) 次期相模原市保健医療計画に盛り込む歯科保健分野の施策について  
事務局より資料 1、資料 2 について説明を行い、次のとおり意見があった。

( 内田紀子委員 )

資料 2 「歯と口腔の健康づくりの推進 ( 案 ) 」 5 ページの市民を支える関係者の取組に『むし歯を予防するために、保育園・幼稚園・学校等において歯みがきなどに関する健康教育を実施します』とあるが、実施されていない園もある。これはどのように進めるつもりか。

( 事務局 )

学校教育の場では健康教育を実施している。保育園の方でも保健師が行っているが、マンパワーに限りがあるため、必要に応じて情報提供を行っていきたい。

( 内田紀子委員 )

保育士への研修についても視野にいれていただきたい。

( 事務局 )

検討させていただく。

( 寺崎会長 )

健康教育は学校歯科医、園医の責務。学校歯科医や園医がやらなければいけない仕事なので園医に声をかければ来てもらえるのではないか。

( 内田紀子委員 )

個々ではなかなか来てもらえないので、ガイドラインがあれば心強い。

( 寺崎会長 )

マニュアルに謳ってある。歯科医師会の方でも周知はしている。

( 尾崎委員 )

文部科学省の方で作成している「生きる力を育む学校での歯・口の健康づくり」には幼稚園、保育園はこうやりりなさいと書いてあるので、それを配布したらよいのではないか。

( 内田善久委員 )

多岐にわたり、網羅されている計画である。要介護者等の成果指標「定期的に歯科検診を受けている要介護者等の割合」は 47% と高いが、居宅か施設かどういう対象の調査なのか

( 事務局 )

施設利用者を対象とした調査。新型コロナウイルス感染症の影響により、前回よ

り回収率が下がった。

(尾崎委員)

受診率については、介護老人保健施設と特別養護老人ホームで異なり、特養が低い傾向がある。また、回収率が低いと割合が上がることが多い。

(原口副会長)

資料2「歯と口腔の健康づくりの推進(案)」2ページに『3歳6か月児で歯科医院にてフッ素を利用している子どもの割合』とあるが、2歳半健診の時にフッ素塗布をすると自費である。この負担をなくし、地域の歯科医院リストを渡すことで、小さい時からのかかりつけ歯科医にもつながり、3歳半健診の時のフッ素塗布率が上がるのではないか。

(事務局)

以前、別の調査結果から、3歳未満には定期的な受診を積極的に勧めていない歯科医院もあったため、今後も歯科医師会、地域の歯科医院のご理解と御協力をいただきながら取り組んでいきたい。

(大嶺委員)

資料2「歯と口腔の健康づくりの推進(案)」の取組の視点 - 3 - 1、「むし歯、歯周病の予防」、取組の視点 - 3 - 3「定期的な歯科医療機関の受診の促進」に関して、対応が不十分な年齢が、大学生～就職した若年層、40歳前までである。乳歯の発育には妊産婦の口腔の健康管理が欠かせない。早産や低体重児のリスクも増える、妊娠中期までの歯科健診が大事であり、妊娠中期までに歯科健診を実施してほしい。

大学生については、歯科健診が実施されていないが、東京都歯科医師会の一部歯科健診を実施している。今後、歯科医師会と行政が連携して何らかの対策が必要。

30歳代を対象とした国民健康保険被保険者歯科健診は受診者数が少ないため、受診率向上策があれば、実施してほしい。また、お口の健康診査も80歳以降も対象としてほしい。オーラルフレイル対策は50歳から口腔機能管理が保険診療でできる。そのため、オーラルフレイル健診が実施できるように対応してほしい。

(寺崎会長)

資料2「歯と口腔の健康づくりの推進(案)」の取組の方向性 - 3 - 1「歯周病予防に取り組みます」の中で、令和3年度結果「進行した歯周病がある人の割合(40歳代)は56.7%、2人に1人は歯周病ということであり、やはり大学生～40歳前、特に妊娠中からの母親への教育が非常に重要である。

(原口副会長)

妊産婦の歯科健診を歯科医療機関で実施することで、かかりつけ歯科医にもつながる。また大学生は親の管理下から外れるため、食生活も含め口腔管理ができていないことが多い。大学生は学校保健の範疇なので歯科健診と啓発活動が必要。

(尾崎委員)

母子保健のところが、明確に見えにくい。母子健康手帳の改訂で、省令部分なので、なにかシステムをつくらないとまずいのではないか。大学生の歯科健康管理は学校保健法の規定が一切なく、また市民ではないので難しいが、20歳代の健康管理をどのようにするか考える必要はある。国民健康保険のレセプトデータをモニタリングしながらすすめていくと良い。フッ化物塗布については、港区と目黒区は3・4・5歳の3年間は年に1回フッ素クーポンを配布し、かかりつけ歯科医院に行き、健康診査、保健指導を受けた上で、フッ素塗布が無料という仕組みがある。ただ、多くの時間や労力、歯科医師会先生方の協力が必要となる。

(浅倉委員)

小学校では子どもたちのむし歯は減少しているが、むし歯がある子は本数も多く、二極化している。歯みがきについては、親が、子の歯みがきの実施状況を確認したり、親子で一緒にみがくなどが必要。

(尾崎委員)

仕上げみがきは小学校のうちには必要。壁際に立たせてお互いにみがきあうなど、親が子供の成長に関心を持たせる教育をしていくことが重要。

(市川委員)

普及啓発について、新聞をとっていれば広報があるが、新聞を取っていない家庭も増えているため、啓発方法の工夫が必要。

(梅澤委員)

新聞購読家庭は22%と低く、啓発する媒体としては厳しくなっている。ICメディアを使う仕組みを考えていかないといけない。

(梶山委員)

成果指標値設定の妥当性について、全国と比較しているか。

(事務局)

成果指標は経年変化値から近似値を用いて予測値を算出し、それよりも少し高い数値を設定している。国の指標、類似の数値もあるが、その母集団や調査の仕方が全く異なっているので、前回の歯科保健計画の中では参考値として掲載している。

(梶山委員)

参考値でも、載せておくとよい。

(岡本委員)

資料1の「市保健医療計画(第3次)体系図、「取組の方向性」で、食との関係が明確に分かると良い。県のモデル事業で、口腔状態の改善と低栄養の改善の関連についての連携事業がある。全身状態を上げていくような事業連携ができるとよい。

(内田善久委員)

緊急度の高いスペシャルニーズの場合、法整備がされていない事や、担当部署が違うという理由で迅速に対応できないのは命にも係わる問題であり、適宜対応できるとよい。

口腔機能について、手つかずの問題の一つではあるが、豊島区などはすでに問題視し対応している。スペシャルニーズへの対応のスピードによって地域格差が生じてしまう懸念がある。

(尾崎委員)

緊急度の高いものは法令に基づいて、保険者が実施する。全てを行政がやれるわけではないこともご理解いただきたい。摂食嚥下に関しては、豊島区は、専用の診療所を持ち、歯科医師会に委託し実施している。検診後に治療管理、予防ができるというシステムが構築されているため成り立っている。検診後の治療管理が重要なため、現場の歯科医療機関の協力が不可欠である。

(今井委員)

資料2「歯と口腔の健康づくりの推進(案)」の取組の方向性 - 3 - 2の取り組み内容を是非やっていただきたい。家族の高齢化や地域の交通事情、施設職員の人手不足などの理由により、訪問歯科が充実するとよい。

また、障害のある場合は、65歳以上が高齢者という概念は外し、個々の状態に応じた対応が必要。

(事務局)

若い世代へのアプローチという話が出たが、非常に苦労している。今後も効果的なアプローチができるか相談しながら進めたい。

今回の様々な意見をもとに、修正可能な箇所は適宜対応し、母子の部分に関しては、歯科の分野では特出しで掲載はされていないが、計画全体を勘案し適切な場所へ明記したい。

次回の審議会は、秋頃を予定しており、内容は一体化を進める保健医療計画の進捗状況、現行計画の進行管理を予定している。詳細は日程近くにお知らせする。

以 上

## 第15回相模原市歯科保健事業推進審議会出欠席名簿

	氏名	所属等	備考	出欠席
1	寺崎浩也	(公社)相模原市歯科医師会	会長	出
2	大嶺秀樹	(公社)相模原市歯科医師会		出
3	梅澤慎一	(一社)相模原市医師会		出
4	岡本裕子	相模原市栄養士会		出
5	原口あゆみ	(特非)神奈川県歯科衛生士会相模原支部	副会長	出
6	梶山和美	神奈川県看護協会 相模原支部		出
7	尾崎哲則	日本歯科医療管理学会		出
8	堤明純	北里大学医学部		欠
9	田代宗弘	県立学校長会議地区別会議 相模原地区		欠
10	浅倉勲	相模原市立小中学校長会		出
11	長友正博	(一社)相模原市幼稚園・認定こども園協会		欠
12	内田紀子	相模原市私立保育園・認定こども園園長会		出
13	幸山隆	相模原地域連合		欠
14	今井康雅	相模原市障害福祉事業所協会		出
15	内田善久	(一社)相模原市高齢者福祉施設協議会		出
16	柴田真砂子	公募委員		出
17	吉田桂子	公募委員		欠
18	市川智之	公募委員		出